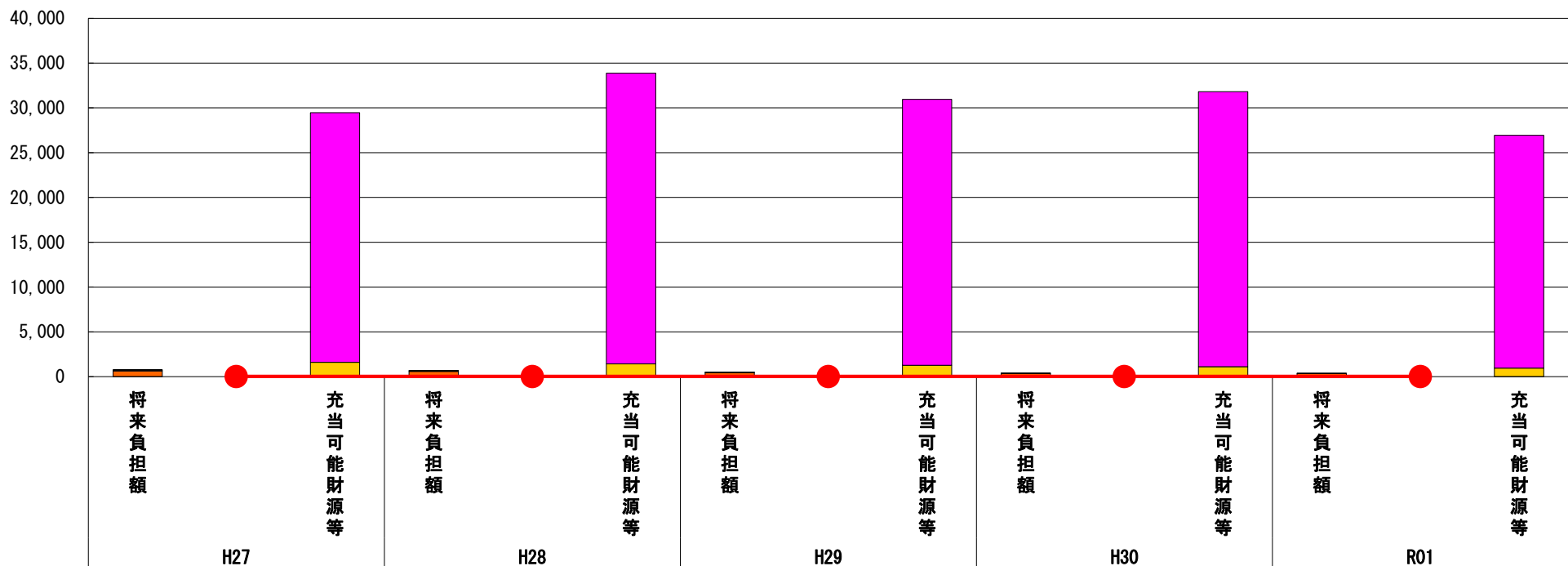


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和元年度

福島県大熊町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		16	8	3	-	-
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		-	-	-	-	-
	組合等負担等見込額		102	88	75	64	53
	退職手当負担見込額		634	587	426	339	343
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		27,870	32,449	29,678	30,699	25,978
	充当可能特定歳入		-	-	-	-	-
	基準財政需要額算入見込額		1,601	1,434	1,268	1,108	958
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 28,720	▲ 33,200	▲ 30,442	▲ 31,404	▲ 26,539

分析欄

財政調整基金や一般財源を原資とした目的基金が増加傾向にあり、反対に震災前に起債した公債費の償還が全て終わり将来負担額はほぼ皆無である。基金は復興事業などの貴重な財源として充当する計画となっている。

※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。